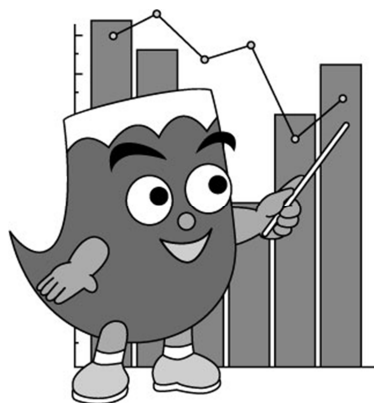


第71回

静岡県統計グラフコンクール

作品募集要領



| | | |
|-----|---|---|
| 主 催 | 静 岡 県 静 岡 県 教 育 研 究 会 | 静 岡 県 統 計 協 会 |
| 後 援 | 静 岡 県 教 育 委 員 会 一 般 財 団 法 人 静 岡 県 教 育 会 館 静 岡 県 私 学 協 会 静 岡 新 聞 社 ・ 静 岡 放 送 静 岡 第 一 テ レ ビ | 一 般 社 団 法 人 静 岡 県 出 版 文 化 会 公 益 財 団 法 人 統 計 情 報 研 究 開 発 セ ン タ ー 中 日 新 聞 東 海 本 社 テ レ ビ 静 岡 静 岡 朝 日 テ レ ビ |

1 目的

統計知識の普及と統計の表現技術の研さんに資するため、県内の小学生、中学生、高校生、大学生及び一般から統計グラフを募集します。

2 対象

県内に在住、または通学・通勤する小・中学生、高等学校以上の生徒、学生及び一般

3 募集内容

統計グラフ

4 募集区分

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| (1) 第1部(小学校1年生～2年生) | (4) 第4部(中学生) |
| (2) 第2部(小学校3年生～4年生) | (5) 第5部(高等学校以上の生徒、学生及び一般) |
| (3) 第3部(小学校5年生～6年生) | (6) パソコン統計グラフの部(小学生以上) |

5 テーマ

テーマは各部とも自由です。ただし、小学校4年生以下は、児童が自ら観察又は調査した結果をグラフにしたものとします。

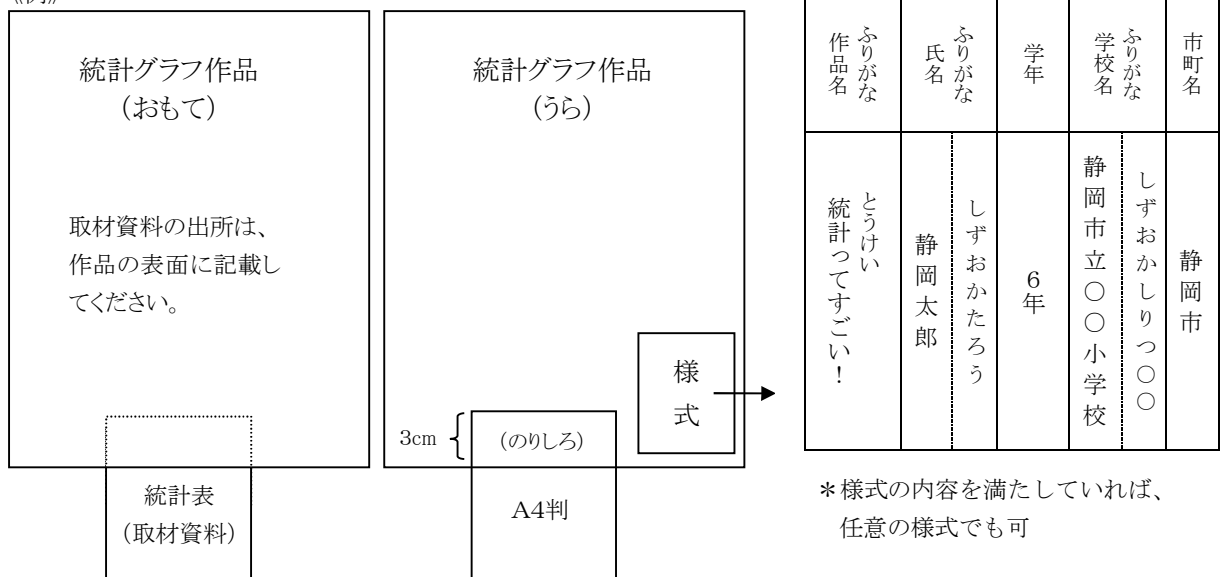
6 応募作品の規格等 ※規格外の作品は審査の対象外となります。

- | | |
|-----------|---|
| (1) 規 格 | 各部とも、72.8 cm×51.5 cm(B2判) ※用紙は貼り合わせでもB2判であれば可。 |
| (2) 紙質・色彩 | 紙質・色彩(単色にでも可)は自由です。ただし、裏面の板張り(パネル仕上げ)や表面のセロハンカバーなどは認められません。 切紙や折り紙をのり付けする場合は、はがれ落ちることのないように十分注意してください。 |
| (3) 応募点数等 | 1人の応募点数は制限しませんが、2枚以上にわたる「シリーズもの」は認められません。 |
| (4) 合作の人数 | 1作品について、5人以内とします。 |

7 応募上の注意

- (1) 応募作品は、自分で創作したものに限りです。
- (2) ゆるキャラや五輪マークなど、第三者（応募者以外の者をいいます。）が作成したイラストや写真等を使った作品は応募できません。（利用許諾の有無にかかわらず、第三者が作成した著作物の全部又は一部の使用はできません。）
<例>アニメ・漫画のキャラクター、商品のロゴ、企業名、市販のキャラクターシールなどの使用はできません。また、自分で描いたものでも、使用できません。
- (3) 応募作品には、裏面右下に次の様式(任意の様式でも可)により、市町名・学校名・学年・氏名・作品名を明記してください。なお、学校名・氏名・作品名は、必ずふりがなを付けてください。(《例》参照)
- (4) 自己の観察又は調査によった場合は、その観察又は調査の記録を別紙として付けてください。
- (5) 自己の観察又は調査によらないで、外から資料を得た場合は、その取材資料の出所を作品表面の適宜の位置に明記するとともに、統計表(取材資料)を別紙として付けてください。
- (6) 観察、調査の記録又は作品に使用した統計表(取材資料)は、A4判の用紙に記載し、作品の裏面下部に3cmの「のりしろ」で次の例のように貼り付けてください。
 なお、統計表(取材資料)が3枚以上になる場合には、表に県及び市町名、応募する部名、学校名、氏名を記載したA4判の封筒に入れて、作品には貼り付けずに提出してください。

《例》



- (7) グラフ部分をパソコンで作成したものは、パソコン統計グラフの部として応募してください。
- (8) 作品は二つ折にしたり、筒型に丸めたりせずに、そのままの形で送付してください。

8 応募方法

- (1) 市町立小・中学校の場合
 各学校は、児童生徒の作成した統計グラフを取りまとめ、管内の市町教育委員会等の指示により提出してください。各市町教育委員会等は、各学校から提出された統計グラフを選出し、静岡県教育研究会事務局(〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-12 静岡県教育会館2階)まで送付してください。
- (2) 国立小・中・高等学校・特別支援学校、県立中・高等学校・特別支援学校、市立高等学校
 私立小・中学校、高等学校・特別支援学校の場合
 各学校は、児童生徒の作成した統計グラフを取りまとめ、静岡県統計協会(〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 静岡県データ活用推進課内)まで送付してください。
- (3) 上記(1)、(2)以外の場合
 静岡県統計協会(〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 静岡県データ活用推進課内)まで送付してください。

9 選出

各市町教育委員会等は、「11 審査基準」に従って、下記のとおり選出してください。
 また、静岡県統計協会取りまとめ分についても同様とします。

| | |
|-----|--------------------|
| 小学校 | 応募総数の15%以内(端数切り上げ) |
| 中学校 | 応募総数の15%以内(端数切り上げ) |

※ 左記の割合は目安です。

10 締め切り

<市町立小・中学校>

学 校 → 令和5年9月1日(金) 市町(教育委員会等)

<国立小・中・高等学校・特別支援学校、県立中・高等学校・特別支援学校
市立高等学校及び私立小・中・高等学校・特別支援学校>

学 校 → 令和5年9月1日(金) 静岡県統計協会

<一般・その他> 令和5年9月1日(金) 静岡県統計協会

令和5年
9月7日(木)必着

静岡県教育研究会

11 審査基準 ※第71回統計グラフ全国コンクール募集要領に準拠

(1) 共通基準

① 誤りはないか

目盛り、単位の取り方、文字・数字、脱字、記入漏れ(基軸線(0線)など)。

② 書き落としはないか

資料の出所、観察・調査の方法。

③ 的確か

見出し(タイトル)の表現、配色。

(2) 各部別基準

◆第1部、第2部

・子どもらしい身近なテーマをとらえ、それにふさわしい観察・調査をし、グラフに表しているか。

◆第3部～第5部及びパソコン統計グラフの部

・統計データを正しく理解して、グラフ化することによってデータの持つ事象が理解されやすくなるよう工夫されているか。訴えたいテーマが的確にグラフに表れているか。また、テーマは興味を喚起するものであるか。パソコン統計グラフの部では、パソコンの機能を十分に活用しているか。

12 入賞区分

特別賞 [県知事賞・県教育委員会教育長賞・県統計協会会長賞・県教育研究会会長賞・県出版文化会
理事長賞・県教育会館理事長賞] 各賞とも各部1点以内

県内報道機関賞 各部概ね1点

| | | | |
|-----|--------|-----|-------|
| 入選 | 12点程度 | 佳作 | 54点程度 |
| 努力賞 | 300点程度 | 学校賞 | 6校以内 |

各賞とも、賞状及び副賞を贈呈します。

13 発表、表彰及び作品展示

(1) 発表 令和5年9月下旬に、本人又は学校あてに通知します。

(2) 表彰 特別賞及び県内報道機関賞作品は、静岡県統計功労者表彰式(令和5年11月30日(木)開催)において表彰します。

(3) 作品展示 特別賞及び県内報道機関賞作品は、優秀作品展示会及びインターネットにおいて一般公開します。

14 募集要領

募集要領は、静岡県統計情報サイト「統計センターしずおか」内の、キッズページ「グラフ博士のとうけい工場」(<https://toukei.pref.shizuoka.jp/kids/index.html>)に掲載しております。

また、過去の優秀作品や応募作品の詳しい作り方も掲載しているので、ぜひご活用ください。

15 その他

(1) 当コンクール入賞作品で、特に優れている作品は、第71回統計グラフ全国コンクールに出品します。

(2) 作品は、表彰式終了後、各市町教育委員会等に返却します。また、全国コンクールに入選した場合、作品の返却は1年後となりますので、御了承ください。

(3) 当コンクールへの応募をもって、報道提供、統計刊行物への掲載及びインターネットのホームページへの掲載を了承したものとみなします。なお、ホームページでは、作品と市町及び名字のみ掲載します。

(4) 特別賞及び県内報道機関賞作品は、展示会、カレンダー作成等に利用します。著作権は、静岡県及び静岡県統計協会に帰属します。(全国コンクールで特選又は入選を受賞した作品の著作権は、公益財団法人 統計情報研究開発センターに帰属します。)

グラフのまとめ方（例）

1 作成手順

①テーマを決めよう！

自分の好きなこと、興味のあること、ニュースなどで話題になっていることなどからテーマを決めましょう。

②データを集めよう！

決めたテーマについて、調べてみましょう。

☆調べ方

- ・アンケートをとる
- ・観察する
- ・本やインターネットで探す

※小学校1～4年生の作品は、自分で観察・調査したものに限りませう。

③グラフを作ってみよう！

まず、調べた結果を表に整理してみましょう。

次にどのグラフを使うか考えましよう。

☆主なグラフの使い分け

◆棒グラフ

量の大小を比較するとき使用

◆折れ線グラフ

増減など量の変化を表すとき使用

◆円グラフ・帯グラフ

割合を表すとき使用

※棒・折れ線・帯グラフには0基点が必要

※学年(学習段階)に応じたグラフを

使用ましよう。

※グラフの種類を決めたら、下書きましよう。

最後に、グラフから何が分かるか考えてましよう。

④レイアウトを考えよう！

グラフやタイトルなどの位置や配色について考えてましよう。伝えたいことが分かりやすいレイアウトを考えましよう。

⑤下書きをして、色をぬろう！

レイアウトができたなら、本番の紙に下書きをして、色を塗りましよう。

⑥見直しをましよう！

最後に、見直しをましよう。

0基点や単位、出典や使用した資料の時点が書いてあるかや、観察・調査の記録を裏面下に貼ったかなどを見直しをましよう。

キッズページからダウンロードできるチェックシートを使うと、便利でましよう。



詳しい作品の作り方は、静岡県統計キッズページを見てね！(『グラフ博士』で検索)

2 作成上の注意

(1) タイトル

グラフの内容や、作品を通じて何を伝えたいのかが、よく分かるようなタイトルをつけましよう。

(2) レイアウト

グラフの見せたい順番や全体のバランスを考慮してレイアウトを考えましよう。

(3) 字体・文字の大きさ

① 文字の大きさはテーマに沿って、一定の順序を決めて、規則正しく書き入れるようにましよう。

② 書き入れる文字は、できるだけ同じ字体にするとバランスがとれて、見やすくなります。

グラフに使う字体(例)

(4) 線の太さ

原則として、棒グラフ、折れ線グラフの基軸線(0線)は太くし、目盛線などのタテ線やヨコ線は細くましよう。

(5) 統計資料の出所

統計グラフには、その統計のもととなる出所・出典を作品の表面の適当な位置に記載ましよう。

(6) 数値の単位

① 数値の単位は必ず書き入れましよう。

② 原則として、収集した資料の数値と作品のグラフの表示(数値)は、一致させましよう。

(7) 色彩

① 色の種類(色相)、② 色の明るさ(明度)、③ 彩度(色の鮮やかさの程度)の性質をよく考え、コントラスト・配色に気をつけましよう。

お問合せ先

静岡県デジタル戦略局データ活用推進課

静岡市葵区追手町9-6 (TEL 054-221-2298)

datakatsuyou@pref.shizuoka.lg.jp



東アジア
文化都市
2023 静岡県

Culture City of East Asia
2023 SHIZUOKA